

# 分 成

- 1 源泉名 XXXXXXXXXX 温泉
- 2 泉 質 ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩・硫酸塩泉(弱アルカリ性低張性高温泉)
- 3 泉 温 58.5℃
- 4 温泉の成分

解 離 成 分 総 量 1359.0 mg/kg					遊 離 成 分					
陽 イ オ ン	mg/kg	m. val	m. val%	陰 イ オ ン	mg/kg	m. val	m. val%	非 解 離 成 分	mg/kg	m. mol
リチウムイオン: Li <sup>+</sup>	0.9	0.19	0.70	フッ素イオン: F <sup>-</sup>	0.2	0.01	0.05	メタケイ酸: H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub>	225.7	2.89
ナトリウムイオン: Na <sup>+</sup>	261.0	11.35	57.12	塩素イオン: Cl <sup>-</sup>	293.9	9.29	41.91	メタホウ酸: HBO <sub>2</sub>	16.2	0.37
カリウムイオン: K <sup>+</sup>	12.6	1.60	8.05	ヨウ素イオン: I <sup>-</sup>						
アンモニウムイオン: NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>				臭素イオン: Br <sup>-</sup>				非解離成分計	221.9	2.26
マグネシウムイオン: Mg <sup>2+</sup>	43.6	3.59	18.07	硫化水素イオン: HS <sup>-</sup>	0.1	0.00	0.00	溶存物質総量:	1600.9	mg/kg
カルシウムイオン: Ca <sup>2+</sup>	63.1	3.15	15.85	硫酸イオン: SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	248.2	5.17	26.14	溶存ガス成分		mg/kg
バリウムイオン: Ba <sup>2+</sup>				リン酸第1水素イオン: HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	0.3	0.01	0.05	遊離二酸化炭素 (遊離炭酸): CO <sub>2</sub>	4.4	0.10
ストロンチウムイオン: Sr <sup>2+</sup>	0.2	0.00	0.00	炭酸水素イオン: HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	384.7	6.30	31.85	遊離硫化水素: H <sub>2</sub> S	—	—
鉄(II)イオン: Fe <sup>2+</sup>	0.4	0.02	0.10	炭酸イオン: CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup>				溶存ガス成分計	4.4	0.10
アルミニウムイオン: Al <sup>3+</sup>								総成分量	1605.3	mg/kg
マンガン(II)イオン: Mn <sup>2+</sup>	0.4	0.02	0.10					ラドン含有量 0.5×10 <sup>-10</sup> Ci/kg (ラドン濃度 0.14 M.E./kg)		
陽イオン計	432.2	19.87	99.99	陰イオン計	926.8	19.78	100.00	pH	7.94	
その他微量成分	アンモニウムイオン(NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> ):0.04 mg/kg, 銅イオン(Cu <sup>2+</sup> ):0.01 mg/kg, 亜鉛イオン(Zn <sup>2+</sup> ):0.02 mg/kg, 遊離硫化水素(H <sub>2</sub> S):0.02 mg/kg, 7-亜硫酸(H <sub>2</sub> AsO <sub>2</sub> ):0.03 mg/kg, 鉛, アルミニウム, フロムカドミウム, チオ硫酸の各イオン, 総水銀は(いずれも検出しなし)。									

分析年月日 平成 元 年 12 月 26 日 分析者氏名 社団法人 熊本県薬剤師会医薬品検査センター

## 浴 用 上 の 注 意 事 項

- 1 温泉療法に際しては、医師の指導を受けることが望ましい。
- 2 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし慣れるにしたがって延長してもよい。
- 3 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
- 4 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない。ただし、「湯ただれ」を起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。
- 5 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
- 6 高度の動脈硬化症・高血圧症・心臓病については、原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。
- 7 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
- 8 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
- 9 飲酒しての入浴は特に注意する。

## 禁 忌 症 及 び 適 応 症

- 1 禁忌症(原則として次の症状の人は入浴できません)
  - (1) 一般的禁忌症  
急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(とくに初期と末期)
  - (2) 泉質別禁忌症
- 2 適応症
  - (1) 一般的適応症  
神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進
  - (2) 泉質別適応症  
きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病

平成 2 年 8 月 27 日

熊本県衛生部

